

校長室より

第41号

「天空高き」



平成24年11月26日

今こそ、からだと頭と心の力をつけるとき

受験生のみなさんは、毎日身を削るようなおもいで机に向かっていていると思います。覚悟を決めて、本気で取り組めばきっと良い結果を得ることができます。たとえ、模試などの結果が報われなくても、一生懸命、真剣に取り組んだことは決して無駄になることはありません。必ず次に繋がります。「継続は力なり」ですから。

今日から2学期末考査の試験週間に入りました。3年生の特進クラスと六年制のみなさんにとっては卒業考査です。

ところで、みなさんがこれからの人生を切り拓いていくためには、まず、身体を鍛える必要があります。そのためには、まず規則正しい生活を送ること、特に食事と睡眠はいつも同じ時間にとることが大切になります。学校生活においては、体育の時間をはじめとして、しっかり身体を動かすことです。

次に、頭を鍛えることです。一番重要になってくるのは、授業を積極的に受けることです。話は目で聴けと言われるように、先生の話は目で見て聴く。ノートは、自分で工夫しながら、理解して取ることです。予習、復習もとても大切なことですが、まず、日々の授業に全力投球してください。

また、この時期は読書の秋と言われるように、本を読むには最適の季節です。図書便りにはいつも最新の、話題になっている本の紹介があります。図書館に毎日1回、足を運ぶだけで、素敵な出会いが待ち構えていますよ。

最後は心です。心は日常生活の中で育っていきます。学校生活では、授業・学校行事・部活動等を通して培われていきます。

勇気、耐える力、協調心、思いやりの心、向上心・・・。

心は目で見ることはできませんが、みなさん一人ひとりの行動となって見ることができます。

次のお礼のはがきが良い例だと思います。

右の写真は白黒写真なので、紅葉のイメージを思い浮かべて、心で見てください。



いつもお世話にております。
11月15日の夕方、南岩国馬尺に
とめている、私の自転車の
チェーンが外れていました。貴
高校2学年の■■■■君■■■■君
が、直して下さり、無事帰宅可
事事が出来まして。
ありがとうございます。
先生からよくお礼を申し上げて
頂けると助かります。

南岩国町在中

彼らは困っている人がいたので、当
り前のことを当たり前にしただけのこと
だと思います。

このお礼のはがきをいただいたときに、
どういう状況だったのかを彼らに聞きま
した。

帰宅中の南岩国駅前で、自転車に乗っ
ていた女性の自転車が「ブチッ」と変な
音がしたので、「どうしたんですか」聞くと
「チェーンが外れた」ということだっ
たので、二人で修理してあげたそうです。

彼らからみれば、ただそれだけのこと
かもしれませんが、彼らが声を掛けたこ
とこそが、今回のポイントです。

何気ない一言だったかもしれませんが
素晴らしいことです。

彼らのちょっとした勇気と相手を思い
やる心と行動に拍手を送ります。

挨拶運動と無遅刻無欠席運動を終えて



生徒会、クラブ活動のみなさんの協
力で、2学期の挨拶運動を南岩国駅前と楽
学碑前で実施しました。同時に無遅刻無
欠席運動も行いました。

ところで、今年度の学校説明会を通
して、本校の「期待される生徒像」と
して、5つのことを取り上げています。

- ① 明るい挨拶ができる
- ② 身だしなみを整えることができる
- ③ 元気に登校できる
- ④ 整理整頓できる
- ⑤ 掃除ができる

皆さんにとっては、小学校に入学したときから、いつも言われ続けてきたことだと思
います。本当に、当たり前のことですが、社会人になっても、必ず言われることです。
校長である私にとっても、いつも気をつけていることです。

人の体は食べ物で作られ、人の考えは会った人によってつくられる。

高橋一清（編集家）



特に、挨拶に関しては、まず、基本の基本ですから、昨年(2019)の4月から、まず、校長から見本を示そうと思い、校門前で実践しています。その時に心がけていることがあります。あいさつにかけて

あ：あかるく
い：いつも自分から
さ：さきに
つ：つづける

ということです。

特に、今でも難しいなと感じているのは「あかるく」挨拶を交わすということです。自分が元気でないと、明るい挨拶はできません。体と心が健康でないと、生徒の皆さんに明るい挨拶はできません。58才になっても、本当に大変です。

紅葉の美しい季節です

葉が緑色をしているのは、葉に含まれる緑色の色素、クロロフィル(葉緑素)の量が黄色の色素カロチノイド(カロチン類とキサントフィル類)よりずっと多いので、黄色は目立たず葉は緑色に見えます。秋、気温が低くなると葉のはたらきが弱まり、クロロフィルが分解されます。そのため、クロロフィルに隠されていたカロチノイドの色がめだって黄色になります。イチョウやポプラの葉が秋に黄色になるのはそのためです。

一方、植物は寒い冬に備えるために、葉を落とすための準備を始めます。葉の葉柄の付け根に離層という組織がつくられ、物質の行き来はここで妨げられます。そのため葉の中の物質は茎に移動できなくなり、光合成で生産された糖は葉に留まることとなります。紅葉する葉では、この糖から赤い色素アントシアニンができて葉は赤くなります。葉はやがて、離層のところで切り離されて落葉します。

アントシアニンの合成には、温度と光の条件が重要です。1日の最低気温が8℃以下になると紅葉が始まり、5~6℃以下になるとぐっと進むといわれています。鮮やかに紅葉するには、日中の気温は20~25℃で夜間は5~10℃になり昼夜の気温の差が大きいこと、空気が澄んで葉が充分日光を受けられることや、大気中に適度な湿度があって葉が乾燥しないことなどが重要です。

アントシアニンは、植物界において広く存在する色素で、特に果実や花に多く含まれ、色素の種類も多く、みなさんにとっておなじみのチューリップやパンジーの花の色が赤、黄、青、紫とバリエーションに富んでいるのもこの色素のおかげです。

宮崎発夢未来～美しい郷土を子どもたちに

みやざき中央新聞

The Miyazaki Central Journal

11月5日(月)

2012年(平成24年)

2482号

発行 (有)宮崎中央新聞社

編集部 〒880-0911 宮崎県宮崎市田吉6207-3

Tel (0985) 53-2600 Fax (0985) 53-5800

毎週月曜日・月4回発行 1ヶ月1,050円(うち消費税50円・送料込み)

郵便振込口座 02060-3-7621

http://miya-chu.jp e-mail: info@miya-chu.jp

「いつでもどこでも」起こりうりますが、絶対にいじめは許されませし、許しません。次の記事には強く心打たれました。本来なら大人の方に是非読んでいただきたいと思いましたが、大人になるみなさんにも目を通してください。

周期があるわけでないと思うが、いじめが原因とされる悲しい事件が数年置きに大きな社会問題になっている。そのたびにいじめをなくそうという大人のメッセージが虚しく聞こえる。

祖母は「長い人生、少しくらい回り道とはやし立てた。そのとき、一人の女の子が羽織っていたカーディガンを脱ぎ、他の数人の女の子のカーディガンも集めて袖のところに結び、「これで隠しな！」と言って大輔に放った。大輔はそれで腰を隠し、立ち上がった。

大輔は最初、祖母に笑いながら話していた。だが、祖母がボロボロ涙を流しながら聞いていることに気付いて、途中から涙声になり、「あの女の子のことを僕は一生忘れない」と語り終えたとき、声を上げて泣いた。

大好きだよって言ってますか

随分前のこと、作家の落合恵子さんに、70歳を超えた女性から長い手紙が届いた。中学2年の孫が、冬休みに祖母の家に遊びに来たことが書かれていた。仮に彼の名を「大輔」としておこう。大輔には顔に大きな赤いアザがあった。幼かった頃、そのアザが原因でいじめられて泣いて帰ってくる

と、祖母は大輔を膝に乗せて優しくこうささやいた。「はあちゃん、はな、大輔が大大大だい好きだよ。大輔の鼻も耳も目も頭も赤いアザもみんな大大大だい好きだよ。」

「はあちゃん、はな、大輔は大好きだよ。お前の鼻も耳も目も頭も赤いアザもみんな大大大だい好きだよ。お前のアザを消してやる」といじめっ子は真冬に校庭の水道を全開にして大輔の頭をつかまえ、蛇口の

下に入れた。上半身が濡れになって帰宅した。母親から「どうしたの?」と聞かれても「何でもない」としか答えなかった。親に話して先生に伝わったら、もういじめられると分かっていた。

ある日の放課後、教室で数人に押さえつけられ、ボロボロパンツを脱がされた。下半身裸のまま、教室の床に正座した。誰かが「前を隠しても後ろから見えてくるんだ?」という電話がかかってき



編集 長谷 穂人
水谷 謹

子ども心に寄り添える大人にならなくては...できるのにはある。